



## 学校に登校できていなくて、今後の勉強が心配…

不安や悩み、そのほかの事情があって、学校に登校していない小中学生は、2022年度で全国で約30万人と、過去最多になりました。

学校に登校するのは難しいけれど、勉強の機会がなくなって不安…そんな悩みを抱えていませんか？本号では、学校に登校することが難しい児童生徒のみなさんに対する、**学びの支援制度**<sup>しえんせいど</sup>をご紹介します。



学校に登校できないけど、勉強についていけなくなるのが不安…  
進学はしたいけれど、できるのかなあ…

ちょっと待って！

## 登校が難しい児童生徒に向けた、学びを支援する取り組みがあります！

2016年に施行された、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」や、文部科学省が発表した、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」などに基づいて、学校に登校することが難しい学生のみなさんに向けて、例えば、次のような支援の制度があります。

### ➤ 教育支援センター

学校に登校することが難しい児童生徒のみなさんの学びの支援や、教育相談を行い、学校への復帰や自立に向けた支援を行う施設として、各自治体の教育委員会が、「教育支援センター」を設置しています。教育支援センターに通うことで、在籍校での出欠席について「出席」扱いと認められる場合もあります。

### ➤ 学びの多様化学校

学校に登校することが難しい児童生徒のみなさんの実態に配慮した、「学びの多様化学校」が全国に設置されています。

学びの多様化学校は、法律に基づいて文部科学大臣が指定した学校であるため、卒業資格を得られるメリットがあります。

みなさんが住んでいる自治体に「学びの多様化学校」が設置されているかは、以下のサイトから確認することができます。



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1387004.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1387004.htm)

「教育を受ける権利」は、<sup>けんぽう</sup>憲法上、すべての人に与えられた権利です。

今、学校に通うことが難しいとしても、勉強することや進学を<sup>あきら</sup>諦めないでください。

### あなたはひとりではありません！

学校に通えなくなることは、誰にでも起きる可能性があることです。今、つらい思いや事情を抱えているみなさん、あなたは決してひとりではありません。あなたが抱えているその思いや事情を、周りの大人や、以下の相談窓口にご相談してみませんか。

このほかに、あなたの地域の相談窓口は、以下のサイトから確認することができます。

【不登校に関する各地の相談窓口】

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112214.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112214.html)

## 相談窓口

### こころのほっとチャット

年齢、性別にかかわらず、誰でも相談できます。

LINE @kokorohotchat



チャット [https://www.npo-tms.or.jp/public/kokoro\\_hotchat/](https://www.npo-tms.or.jp/public/kokoro_hotchat/)

### チャイルドライン

18歳以下の子どものための相談窓口です。ちょっとしたことでも気軽に電話をかけられます。

電話番号 0120-99-7777

<https://childline.or.jp/>

### いのちの電話

苦しい気持ちを抱えたときの相談電話です。

電話番号 0120-783-556

<https://www.inochinodenwa.org/>

担当：川崎 佑太、平田 亜佳音、田代 潤奈、山岡 祐貴